

問1.講演会の内容はいかがでしたか？

満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満
62	30	3	3	1

問2. 問1についてその理由についてお聞かせください。

【満足】

- 無料施設＝図書館の考え方が古いという事がわかりました。また「司書」という人材でくくらない多様性が必要なのではないか。
- 図書館のもつ役割の多様性、まちづくりと図書館の視点、学ぶことが多かった。
- 初めて聞かせていただきました。SDGsのことも含めて感動しました。具体的に素晴らしい図書館の例も見て、これからの図書館ってすごいと感じた。
- 図書館の存在意義について改めて認識を深めることができた。
- 発信する図書館、これからの図書館をいろいろ模索されているが図書館の本質にせまっていない気がしていたが、今日の講演で本棚の並べ方を変えることが大変心に残った。
- いろいろな角度から図書館の可能性について考えさせられた。
- 地域で経済循環できる仕組みを小松市にも取り入れてほしいです。
- 新しい図書館像を考えさせられた。
- 様々な自治体の事例を見ることができ、未来型図書館を想像しやすかった。聞いていてワクワクした。
- お話しの中に小松市でも取り入れるべき事が沢山あったと思う。
- 他人事ではなく市民ひとりひとりの考えが大事との感を新たにした。行政に対する考えをはっきり言われてよかった。
- 図書館とは貸し出すところというイメージだったが、複合施設であってもよいし、コミュニティづくり、色々な事を生み出す場としても大切ということが分かった。
- 図書館を核とした空間づくりの考え方を知ることができた。
- 幕別町図書館、ふみの森もてぎ、ゆすはら雲の上の図書館など、事例が面白く、実際、実績ある人は魅力があった。落語の話もストレスと関連づけていることが良かった。ワクワクするお話でした。
- 全国の図書館の事例を見て聞いて、私の固定概念が全く払拭された。
- 今までの図書館のイメージがくつがえされた。小松市の図書館も飲食可、子供が飛び回り、郷土資料がすぐ手に取れる、そんな図書館に生まれ変わってほしい。
- ソーシャルイノベーションを実践することが大切。図書館建設の前に地域、地元を大切にしなければならないと感じた。
- 様々な図書館を紹介していただき勉強になりました。学校司書をしており、生涯学習としての図書館のあり方を今後も学んでいきたいです。
- 未来型図書館の意味が具体的に分かりました。
- 意識を高めることができた。ソーシャルイノベーションをはじめとして利他にまで及ぶ図書館は魅力的だと思います。地域の人とともに創っていく図書館であること、地域の未来像

- をも生み出す図書館が市民の拠り所となることの大切さを考えることができました。
- 小松市の図書館が第2世代型であるという事が驚きで、それで図書館へ行っても楽しくないと感じるのだと思いました。新しい考え方、図書館の楽しみ方などが分かった。
 - 地域交流拠点としての図書館という話に目からウロコでした。料理や手芸の本の内容をワークショップとして講師してもらい、道具も購入できるとか、走り方・俳句など、何でも図書館に行けば体験できる、そんな図書館があったら嬉しいなと思いました。本・体験・講演などから色んな興味をひきだしてくれる図書館だと子供たちも行きやすいかと思いました。
 - 事例がいくつもあり分かりやすかった。また、運営のヒントもあり良かったと思う。
 - 図書館に関してイメージが全く変わった。
 - 新しい図書館への期待がますます大きくなった。社会的貢献ができ地域にお金が落とせる図書館楽しみです。
 - 設計・運営が違うこと、本の購入についてなど具体的な内容やみどり号のことなどあたり前に思っていたことが講演をきいて色々気付きました。
 - 目からウロコのお話で、小松の将来が明るく思えました。
 - 地域課題としてその中で図書館が果たし得る役割や可能性について知る事ができた。
 - 図書館とまちづくりの関係性や図書館をみんなで作っていくプロセスの多様性について学びが多かった。
 - 図書館が地域経済を回すという考えが新しい。そこまで考えた事がなかった。
 - 知りたかったことが具体的に示されていてよかった。
 - 図書館はただ本があり、借りられる場所ではなく、人とまちをつなぐ、そして未来の人とまちをつくり出す、ものすごい可能性があるかと学べました。
 - 市民が持っている玉子焼をどれくらい出せるか。そのひと手間をおしまない工夫や改善の大切さがとてもよく伝わりました。
 - 講師の図書館に対する情熱が伝わり、ますます小松の図書館を市民みんなでアイデアを出し合い作りたと思いました。図書館は未来の小松に大変重要だと改めて感じました。
 - 発想が新しかった。
 - 図書館とは何か、その入口が少し分かった。
 - 参考になりました。新しい視点を教えてもらえた。
 - いろんな事例報告もしていただき楽しかったです。
 - 持続性を担保するにはレジリエンス性が重要だという点を学びました。
 - 日本中に多様な図書館がある事をとて楽しく聞くことが出来ました。図書館づくりは人づくりに感動しました。
 - 図書館の役割が貸し出し以外にたくさんの役割がある事がよく分かった。そして市や町によってニーズが異なるので、それぞれに合った図書館が必要であると分かった。
 - 新世代の図書館を学べた。
 - 地域と図書館のつながりが必要と分かった。人と人がつながる図書館になってほしい。
 - 各地の事例が豊富で楽しく拝聴できました。図書館のプロデューサー、ディレクター制は、はじめて知りえたことでよかった。

【やや満足】

- 様々な事例を伺うことができた。
- 図書館の立地について触れてほしかった。
- 全国の新しい図書館の取り組みを知ってびっくりした。
- 市立図書館の役割をよく議論する必要がある。電子化の時代に図書館の役割は。
- 地域の人がエディターとなってとても興味深いです。
- さらにいろいろな考え方のお話を伺いたいです。
- 未来型というものが少し理解できたように思います。小松市の図書館がどんな風になるか楽しみです。第2から第5世代の図書館へ、市民の意識改革が必要と思いました。
- 良い事例を知ることができた。
- 今まで知らずしななかったこともあり、知らないことばかりで新鮮でした。
- 本を借りる、読むだけでなく、まちづくりもできる事が知れ、ますます小松市の図書館づくりに期待したい。
- この先の図書館のあり方について考えさせられる話があった。
- 図書館と福祉、福祉と仕事、図書館と収益などいろんなつながりのヒントが得られました。
- 目的が多種多様であることを知った。小松が特化した図書館はどのようなものが良いか簡単ではないと思った。
- 知らないことがたくさんあった。読書は目的ではないとの意見は同感です。
- 図書館に求められている役割が昔に比べてずいぶんと変化していることにびっくりした
- 図書館をコミュニケーションの中心というのは分かりますが、図書館という名を変えられませんか。高齢者も参加できる場所にしてほしい。

【どちらとも言えない】

- 少し難しかったです。
- 何か未来型の要素がつかめない。システムと建築ではなくてコンセプトが大切。ソーシャルイノベーションで図書館はどこへ向かうのか。

【やや不満】

- 読書・本がなぜ必要なのか、本そのものの価値、本の効用、効果をもっと知りたかった。市民が望む本を追求してほしい、読みたい本がある図書館を求めたい。
- 未来型図書館が早く出来ればよいと思い、応援しています。みんな自分のことでいっぱい、利他、ひとのために時間を割ける人は、それほどいないと感じます。もっとみんなで講演を聞いた方がいいのではないかな。
- 地域の中の企業と図書館をつなげていくこと、経済の面をもう少し深くききたかった。

問3. 今後、未来型図書館づくりに向けて学びを深める機会として参加したいものについて教えてください。(複数回答)

講演会	ワークショップや複数回シリーズの勉強会	その他
62	55	6

- シビックプライドに基づく地域活性についての勉強会。
- zoom 会議でいろいろ意見交換したい。
- 小松市のそれぞれの分野でお仕事されている方のおすすめの本の紹介。
- 図書館の見学。
- 講演会などを小松市のSNSでもっと何回も発信してほしい。

問4. 現在の市立図書館の運営にあたり、参加したいものについて教えてください。(複数回答)

各種イベントの企画	読み聞かせ	本の紹介(POPや図書館だよりの作成など)	その他
49	30	29	6

- 一緒に本棚を中身を含めてつくりたい。
- 図書館を活気づかせるための人育て勉強会。
- 書庫の整理など裏方の仕事がもしあれば参加したい。
- 普段、図書館に来ることができない方へのサポートをしたい。
- 図書館に係る様々な変革(小松の魅力を活かしそれが輝くように変えるべきを変えたい)。
- 選書。
- 古くなった(あまり役に立たない)本をもっと処分することをイベントとしてできないか。